


ふりがな 氏名	おがさわら まい	都道府県	東京都	
	小笠原 舞			
所属/肩書	こども未来プロデューサー、asobi 基地／代表 (NPO 申請中)、 合同会社こどもみらい探求社／共同代表			
私の ESD活動	親への子育て体験型教育の場の提供および大人 もこどもも自分らしくいられる子育てコミュ ニティづくり			

活動の概要（特に、取り組みの独創性、革新性、成果について説明してください）

18歳から子どもに関わるボランティアを初め、一般企業に就職後、2010年から保育士として勤務。現場にいて見えてきたことは、こんなにも個性ある子ども達が、果たしてこのままの教育の仕組みで、自分らしく生きていけるのかという疑問でした。その問題を解決するために、現場のニーズを見て、仮説を立てました。それは、「子どもには「子ども達が自由に自分を表現できる、自分らしくいれる場所、自分を知ることのできる場所を増やすこと」が必要。大人（親以外にもプレ親等の大人も含む）には「子どもを知れる場所、子どもとの関わり方について学べる場所、大人も自分らしくいれる場所」が必要」ということです。それを具体的にするために、2012年7月から新しい子育て支援コミュニティ asobi 基地（現在 NPO 申請中）を始め、現在までに30回をこえるイベントを実施し、2000組以上の親子や大人と出会いました。保育士、こども精神科医等の専門家もいるため、子どもと一緒に見ながら気軽に育児相談できたり、子どもの特徴を覚えてもらえたりもするので、1度来たらリピーターになることが多く、大人も子どももそれぞれが、楽しめる・学べる場所として機能してきています。

簡単に言うと、こどもをつれて実践型で子育てを学ぶ場所です。さらに、保育士が多くスタッフに集まってきたので、保育園を超えて社会に新しい保育士の役割を見だし、子どもを取り巻く問題を解決していくため、保育士たちの保育園以外の活躍の場としても機能してきています。常に現場を感じて、アクションし、課題を見つけ、さらにアクションをと動き続けることで、変化をしつづけながら、今の子育ての現場に必要なことをつめこんで、表現しています。親の子育ての学びの場づくりとコミュニティによる継続的な支援をすることで、こどもたちが安定し、様々なことにチャレンジできるこどもたちを育てて行き、日本の未来をつくる人材の育成につなげていきます。

・asobi 基地: <http://asobikichi.jp/>

・asobi 基地 Facebook: <https://www.facebook.com/asobikichi>

今後のESDの発展のために、若者はどのような役割を担えますか？

今までの概念、当たり前という考えではなく、課題を解決するために現場のニーズをくみとり、新しいアイデアでの社会課題解決をしていくことができると考えています。

私自身で言うと、自分の実体験（こどもたちに自分の人生を変えてもらった）から「子どもの持つ力と可能性について」を発信すること。こどもたちには人を変える力があり、さらには社会を変える力があると信じています。社会的に弱者になりやすい子ども達ですが、私はその力によって今、ここに生きているので、彼らの声を社会・世界に代弁し、彼らの立場・視点を取り入れながら、世界をよりよく変えていきたいと思っています。「こどもの人権について」「これからの日本における家族観、こども観について」「保育士という仕事の可能性」など、今までの歴史の流れではなく、今の課題・現状から新しいやり方でのイノベーションを与えていけると思います。